

■1. 事業に取り組んだ背景

萩市広域エリアの日本海側では、豊富な漁獲資源が存在するにもかかわらず、販売・流通ルートが限定的であり、生産者の減少・高齢化が進行している。一方で、国の方針として「2020年以降の農林水産物の輸出額ポスト1兆円を目指し、関係者間の連携により競争力のある水産物を輸出できる体制整備」が求められている状況である。



■2. 事業の目的

本事業では、萩市広域エリアで漁獲される水産物を使用し、最先端の冷凍技術や加工機器を駆使することによって消費者のニーズに合わせた魅力的な加工製品を企画・製造する。また、生産者から加工・流通業者、販売業者、輸出代行業者や商社等が連携し、地域の魚の認知度およびブランド向上を実現するとともに、東南アジアをはじめとする海外マーケットを開拓し、地域の活性化に加えて、生産者の所得向上及び後継者の確保につなげていくことを目的とする。



■3. 協議会の構成員と役割分担

	段階	名称	事業種類・役割	具体的な取組内容
事業実施者	生産	山口県漁業協同組合はぎ統括支所	生産	<ul style="list-style-type: none"> ■加工品原料の生産 ■生産段階における取組の実施
	流通輸出	株式会社JTB総合研究所	シンクタンク 加工・輸出・販売 代表機関	<ul style="list-style-type: none"> ■商品企画 ■関係各所の協力体制構築 ■事業全体の取りまとめ
	加工流通	株式会社広松	水産加工	<ul style="list-style-type: none"> ■加工製品の試作 ■加工製品の製造
	流通	日本郵便株式会社 萩越ヶ浜郵便局	物流事業者	<ul style="list-style-type: none"> ■日本国内におけるカタログ販売等の提案 ■越境ECの実施に関する支援
オブザーバー	行政	山口県萩市農林水産部水産課	行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ■協議会への参画
外部委託先	調整	有限会社タビーナ静岡	旅行代理店 コーディネート	<ul style="list-style-type: none"> ■東南アジアにおける商談会コーディネーター ■台湾、バンコクにおける販売支援

■4. 取り組み内容

◆輸出に向けた新商品の企画・開発

- ① **関係者間での連携**▶生産者、加工・流通業者と輸出関係業者が協力して原料の確保から加工品の企画、試作や生産ラインの整備、輸出手続きまでを一貫して実施できる体制を構築(水産6次化)
- ② **輸出先のニーズに合わせた新商品の企画・検討**▶早いサイクルで**新商品の企画・開発を実施**し、マーケット調査・分析に基づいたターゲット層に合致する商品を選択
- ③ **先端技術の導入**▶日本が持つ先端技術である3Dフリーザー(冷凍技術)や水温熟成機等を活用し、**新商品開発を実施**。長期間鮮度を維持することで、高付加価値商品を実現

◆IT技術・AIを活用した効率化とコスト削減

- ① **システムの導入による事務手続きの効率化**▶海外輸出の際の仲介業者との受発注手続きをシステム構築することで簡素化し、**事務手続きに係る負担を軽減**するとともに、人的コストを削減
- ② **AIチャットボットシステムの導入検討**▶海外の流通関係者や顧客からの問い合わせに対し、自動的に回答・返信が可能な**AIチャットボットシステムの導入を検討**
- ③ **事務作業の簡略化と省人化によるコスト削減**▶AIチャットボットシステム等のシステムの導入により、事務作業の簡略化および作業効率の向上、省人化を実現し、人件費をはじめとする**コスト削減を実現**

◆越境ECを活用した水産加工品の輸出展開

- ① **越境EC事業者との連携**▶海外市場参入の黎明期に関しては、既に輸出システムを確立している越境EC事業者を活用し、国内で商品売り渡すことで作業を簡素化し、**商品開発に注力できる環境を整備**
- ② **輸出先国企業との連携による販路開拓**▶既に海外に販売拠点を持つ日本企業や日本産水産物の輸入実績を持つ現地企業との連携により、手間を掛けず**安定的に商品を販売できるルートを構築**
- ③ **独自の輸出ルートの開拓**▶海外輸出が軌道に乗った段階で、独自の輸出ルートの開拓に着手。現地企業と直接輸出入に関する手続きを行うことで、より**利益率の高い輸出モデルを構築**

☆本事業のポイント☆

- ◆輸出に向けた新商品の企画・開発とアジア圏における販路開拓
- ◆IT技術・AIを活用した効率化とコスト削減
- ◆越境ECを活用した水産加工品の輸出展開